



# 会報

No.47

2019年1月1日発行

発行/日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者/和田 新  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

## 情報銀行とデータ取引コンプライアンス

日本コンプライアンス・オフィサー協会会長 長谷川 俊明

いまや、「データの時代」であり、21世紀は「データの世紀」とさえ、いわれます。

とくに、2018年は、「データ」の取引にとって画期的な年になりました。5月25日、EUのGDPR（一般データ保護規則）が適用開始になり、個人データの「越境移転」が厳しく規制されることになったからです。

ここでいうデータは、デジタル化されたデータを指しますが、データのなかでも「個人データ」の大量ネット流出などを防止する、いわば「データ管理内部統制・コンプライアンス体制」を、GDPRは厳しく求めているといつてよいでしょう。

個人データは、「石油に代わる資源」として、さかんに企業などによって取引されるようになりました。ただ、これだけ大量に流通すると、個人のコントロールの外で、もっぱら事業者の間で個人データが共有・活用されるのではないかと、懸念が生じてしまいます。

こうした懸念に対処しつつ、個人データの円滑な流通を実現するための仕組みの1つとして考え出されたのが、情報銀行です。情報銀行は、個人とのデータ活用に関する契約などに基づき、一定のシステムを活用して個人のデータを管理するとともに、個人の指示またはあらかじめ指定した条件に基づき、個人に代わり妥当性を判断のうえ、データを第三者（他の事業者）に提供する事業の

ことをいいます。

情報銀行にデータを提供した個人は、対価として、事業者から直接または間接的に便益の還元を受けられます。便益内容としては、金銭、または情報の提供を受けた事業者の事業で使用するこのできるクーポンなどが考えられます。あるいは、医療情報を提供することで、医学の発展を通じて社会全体に便益を還元させることも可能です。

情報銀行のサービス形態には、個人がデータの提供先まで決定する形態と、データの提供先を運用担当者に任せる形態があります。後者では、データを預かった事業者がデータを匿名化し、他の事業者に提供することが考えられています。しかし、日本は海外と比べ個人データの外部提供に対する抵抗感が強いとの調査もあり、データのセキュリティおよび認定制度などによって不安感をいかに払拭できるかが鍵になります。

情報銀行のように大量の個人データを預かる者は、預金を扱う金融機関と同じように、場合によっては、より“自制的”なコンプライアンス体制構築を求められます。とくに、運用委託の場合、みずからの個人データがどの事業者提供され、どう活用されているかを本人が確認でき、希望するならば利用を停止し、データを他の事業者に移転し、あるいはデータを削除できる仕組みの提供に努めるよう求められています。

## コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

昨年10月28日(日)に実施した第45回コンプライアンス・オフィサー認定試験の試験結果がまとまりましたのでご報告いたします。

### ●金融コンプライアンス・オフィサー 1級

成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数763名中受験者は629名で、認定者は349名でした。認定率は55.48%、平均点は59.31点で、ともに前回は上回りました。

問題では、〔問題-2〕苦情・トラブルへの対応、〔問題-8〕振り込め詐欺救済法、が低調な結果でした。〔問題-2〕は、しばしば出題されるテーマですが、問題の質問文で問われている内容について、記述がなされていない答案が散見されました。答案を作成する際には、出題の意図を理解し、求められている内容を記述することが肝要です。また、〔問題-8〕は最近出題していなかったテーマですが、どのような問題が出題されても対応できるように、出題範囲全般にわたった学習が求められます。

※〔問題-7〕につきまして、問題に不備がありました。このため、受験者全員の方に10点を配点することと致しました。受験者の皆様をはじめ関係者の皆様には、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

### ●金融コンプライアンス・オフィサー 2級

成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数5,421名中受験者は5,056名で、認定者は3,863名でした。認定率は76.40%、平均点は68.79点で、ともに前回は上回りました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-22〕電磁的記録不正作出等、〔問-30〕断定的判断の提供等の禁止、〔問-37〕偽造・盗難カード等預貯金者保護法の3問で、前回より3問減りました。

〔問-22〕は、しばしば出題されるテーマであり、〔問-30〕と〔問-37〕は頻出のテーマで、各問とも出題頻度としては高い部類のテーマです。学習をする際には、漫然とではなく、知識を正解に定着させる姿勢でのぞみ、試験でその成果を発揮することが望まれます。

### ●保険コンプライアンス・オフィサー 2級

成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数1,136名中受験者は1,048名で、認定者は847名でした。認定率は80.82%、平均点は68.45点で、ともに前回は上回りました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-29〕不法取得目的・詐欺・重大事由がある場合、〔問-30〕生命保険制度の悪用（モラルリスク）への対応、〔問-43〕有価証券取引にかかる金融商品取引法上の規制の3問で、前回から1問減りました。

このうち、〔問-43〕有価証券取引にかかる金融商品取引法上の規制について、インサイダー情報に該当しない情報であっても、法人関係情報のような一般の投資家が知り得ない内部情報に基づいて上場会社の株式等の売買を行うことは、金融庁の保険会社向けの総合的な監督指針の監督項目となっており、留意が必要です。また、違法に相場を変動させたり、固定させたりする行為は相場操縦的行為とされていますが、3つの類型があり、それぞれ主観的要件（目的）と客観的要件（行為の態様）が定められており、理解が求められます。

〔表－1〕 金融コンプライアンス・オフィサー 1級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	15	304	94	29	76	25	38	18	1	1	61	101	763
応募比率(%)	1.97	39.84	12.32	3.80	9.96	3.28	4.98	2.36	0.13	0.13	7.99	13.24	100.00
受験者数(名)	14	253	71	26	63	19	36	12	1	1	61	72	629
受験率(%)	93.33	83.22	75.53	89.66	82.89	76.00	94.74	66.67	100.00	100.00	100.00	71.29	82.44
認定者数(名)	10	146	41	15	28	7	17	10	1	1	27	46	349
認定率(%)	71.43	57.71	57.75	57.69	44.44	36.84	47.22	83.33	100.00	100.00	44.26	63.89	55.48
平均点(点)	63.14	59.67	59.58	58.85	56.94	53.84	58.03	66.92	64.00	61.00	57.62	61.42	59.31
年齢(歳)	46.4	39.2	35.3	42.7	41.0	46.2	43.3	41.2	51.0	47.0	52.9	44.1	41.7
勤続年数(年)	23.4	16.1	11.3	18.5	17.8	18.4	19.4	16.6	27.0	6.0	30.3	15.6	17.4

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－2〕 金融コンプライアンス・オフィサー 2級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	195	909	541	461	1,022	426	939	92	7	11	19	799	5,421
応募比率(%)	3.60	16.77	9.98	8.50	18.85	7.86	17.32	1.70	0.13	0.20	0.35	14.74	100.00
受験者数(名)	186	852	512	435	962	394	891	85	6	10	16	707	5,056
受験率(%)	95.38	93.73	94.64	94.36	94.13	92.49	94.89	92.39	85.71	90.91	84.21	88.49	93.27
認定者数(名)	172	740	479	345	681	211	537	70	6	9	15	598	3,863
認定率(%)	92.47	86.85	93.55	79.31	70.79	53.55	60.27	82.35	100.00	90.00	93.75	84.58	76.40
平均点(点)	75.02	71.70	74.74	68.60	66.92	61.12	63.68	70.80	75.00	75.40	78.63	72.12	68.79
年齢(歳)	32.8	31.1	27.2	28.4	30.7	28.7	37.1	33.8	40.3	41.8	48.6	34.5	32.0
勤続年数(年)	8.0	8.0	2.7	5.8	8.2	6.3	13.1	8.7	12.5	8.3	24.5	9.3	8.2

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－3〕 保険コンプライアンス・オフィサー 2級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	0	170	0	7	78	4	271	1	250	0	26	329	1,136
応募比率(%)	0.00	14.96	0.00	0.62	6.87	0.35	23.86	0.09	22.01	0.00	2.29	28.96	100.00
受験者数(名)	0	159	0	5	73	4	250	1	235	0	24	297	1,048
受験率(%)	0.00	93.53	0.00	71.43	93.59	100.00	92.25	100.00	94.00	0.00	92.31	90.27	92.25
認定者数(名)	0	148	0	3	49	4	132	1	224	0	19	267	847
認定率(%)	0.00	93.08	0.00	60.00	67.12	100.00	52.80	100.00	95.32	0.00	79.17	89.90	80.82
平均点(点)	0.00	68.62	0.00	66.40	63.45	71.00	59.70	80.00	74.89	0.00	65.17	72.08	68.45
年齢(歳)	0.0	35.6	0.0	39.4	42.2	38.5	37.0	38.0	37.9	0.0	34.9	43.6	39.2
勤続年数(年)	0.0	13.3	0.0	17.5	18.4	16.0	14.8	13.0	13.3	0.0	7.6	18.8	15.3

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

## 第45回 金融コンプライアンス・オフィサー 2 級試験 都道府県別認定率ランキング

第45回コンプライアンス・オフィサー認定試験の成績結果につきましては2、3頁でご紹介しましたが、金融コンプライアンス・オフィサー2級で認定率が上位5位の都道府県は下記のとおりです。

\*申込20名以上の団体を対象としています。また、「都道府県別」については、各団体の本店所在地を都道府県に置き換えて集計・作成しています。

### ★金融コンプライアンス・オフィサー2級認定率…全国平均76.40%

		認定率	受験者数	認定者数
<b>1位</b>	<b>三重県</b>	<b>100.00%</b>	<b>57名</b>	<b>57名</b>
<b>2位</b>	<b>愛媛県</b>	<b>95.56%</b>	<b>90名</b>	<b>86名</b>
<b>3位</b>	<b>山口県</b>	<b>95.00%</b>	<b>20名</b>	<b>19名</b>
<b>4位</b>	<b>京都府</b>	<b>92.31%</b>	<b>39名</b>	<b>36名</b>
<b>5位</b>	<b>岐阜県</b>	<b>90.63%</b>	<b>32名</b>	<b>29名</b>

〔2019年3月実施〕

### コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
<b>第46回</b> 2019年 3月3日(日)	2019年 1月7日(月) ～1月21日(月) 必着	JAコンプライアンス3級	三択一マークシート式	(注) 10:00～11:30 (90分)	3,240円 (税込)

(注)「JAコンプライアンス3級」は、2019年3月3日実施分より、試験時間が、従来の午後から午前に変更になります。

〔2019年6月実施〕

### コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
<b>第47回</b> 2019年 6月2日(日)	2019年 4月1日(月) ～4月18日(木) 必着	金融コンプライアンス・ オフィサー1級	記述式	13:30～16:30 (180分)	6,480円 (税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー2級	四択一マークシート式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)
		金融個人情報保護 オフィサー2級	三択一式／ 事例付記述式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)